

# 河川に関わる仕事

地域の暮らしを「守り」、川と人々を「つなぐ」



まちづくりと連携した川づくり・河川空間のオープン化による賑わいの創出



武井 隼人

TAKEI HAYATO

卒業・修了 北海道科学大学 卒業  
 試験区分 一般職(大卒程度)試験 土木  
 採用年度 2016年採用  
 現所属 本局 建設部 河川計画課

私は現在、北海道開発局本局の河川計画課で、ダム建設の計画等に関する業務に携わっています。近年、全国的に大雨の降る頻度が高まってきており、北海道も例外ではありません。大雨が降った場合でも地域を水害から守るため、ダム建設が進められています。ダム事業というのは、調査・計画から建設を経て、完成までに非常に長い年月を要します。その長い間に、事業が円滑に進められるよう、コスト管理や工程管理等に携わっています。

日々の業務をこなしていく中で、自分の携わっている仕事が、地域を守ることに繋がっているということに非常に大きなやりがいを感じています。この「大きなやりがい」は、ダム事業のような、大きな事業に携わることのできるこの職場でしか味わえないと思います。

みなさんも北海道開発局の河川に関する仕事に携わり、ともに北海道の地域を守るメンバーの一員になりませんか。



卜部 彩花

URABE AYAKA

卒業・修了 弘前大学 卒業  
 試験区分 一般職(大卒程度)試験 土木  
 採用年度 2018年採用  
 現所属 室蘭開発建設部 鶴川沙流川河川事務所 計画課

鶴川沙流川河川事務所計画課で、主に環境の担当として河川に生息する動植物に配慮した河川計画の立案や、河川空間が地域の憩いの場となるような環境づくりの検討を行っています。

安心・安全を守る河川計画を立案するのももちろんですが、地域の環境や文化に配慮した河川整備をめざし、魅力ある水辺空間を創出することにより、地域の町づくりに少しでも貢献できるといいなと思っています。水辺空間をイベントや環境学習などにご利用いただき、楽しんでいる姿を見ると、笑顔につながる仕事であると実感します。

近年の気候変動の状態を考慮すると、河川の整備は北海道の産業を支える上でも非常に重要な仕事であると思います。多岐にわたる業務で大変なこともあります。上司・先輩のサポートもあり、働きがいのある職場です。皆さんと一緒に働いてみませんか？



## 洪水からのちとくらしを守る治水対策

河道掘削や堤防整備等により川の流れる断面積を大きくするほか、ダムを建設し、そのダムにより大雨時に洪水をためこみ(洪水調節)、いのちとくらしを守ります。



## あらゆる関係者と協働し流域治水を推進

気候変動による災害の激甚化・頻発化を踏まえ、防災・減災を意識した社会を目指し、国、北海道、市町村、民間企業等の機関が参画・協働したハード・ソフト一体となった「流域治水」を主導します。



## 水辺の魅力をフル活用-かわたびほっかいどう-

将来にわたって人々を惹きつける地域を目指し、豊かな自然環境など北海道の水辺ごとの魅力を最大限に引き出す「かわたびほっかいどう」を、地域の方々とともに推進します。